

令和2年度大野市公共下水道事業審議会会議録

日時：令和2年8月20日（木）午後1時30分～2時20分

場所：大野市役所 大会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

(1) 事業の進捗状況について

(2) 供用開始区域の拡大について

【資料に基づき事務局説明後、質疑応答】

委員 加入促進実績ということで件数が挙げられているが、事業所の加入はどのような状況になっているのか。

また、公共下水道接続促進事業は事業期間が令和4年3月31日までとなっているが、延長の可能性はあるか。

事務局 令和2年4月1日現在の事業所の加入状況は、公共施設を含み278件ある。加入促進については、これまで上下水道課の事業に関連のある事業者を中心に加入促進をしてきたが、事業所の施設改修や事業所の移転、事業者の変更などの機会を捉えて加入促進をしていきたい。

2点目の公共下水道接続促進事業補助については、令和元年度に事業を開始した際、当初予算で年間5件を予定していたところ、7件の実績があった。

今後、利用者が多いようであれば、期限を延長して多くの方に利用していただきたいと考えている。

委員 新しく地域に事業所を作る時には、必ず下水道に加入するというシステムになっているのか。

事務局 新しい事業所が新築や増改築などをする場合には、建築確認申請を通ることになり、公共下水道区域については、下水道への接続が義務付けられるので下水道の加入につながっていく。

委員 先般、新聞報道で御清水の周辺で下水道工事をするということについて、住民が反対したと書かれていた。なぜ、反対するのか理由が分からない。下水道に接続すれば地域もきれいになるのに、なぜ住民は反対したのか。

事務局 まず、議会で「泉町地区の公共下水道整備工事にかかる詳細設計策定を急がない」ことを求める陳情書が提出され、審議の結果、御清水周辺の下水道整備については、住民の方々とよく話をして進めるようにということで採択された。

その後、住民説明会の中で出た意見として、もしも熊本のような地震があった場合、下水道管が破損し下水が地下水に流れ出て、地下水汚染の原因になるのではないかという声があった。

大野市の下水道は後発であり、阪神淡路大震災以降にできた技術である大地震にも対応できるような管を使っており、ある程度の地震には耐えられる構造であることを説明している。

市としては、御清水周辺の泉町について、住民の方々と話し合いをしながら、理解を得ていきたいと取り組んでいるところである。

委員 水洗化率が36.7%ということは、残りの人は浄化槽を使っているということか。

事務局 36.7%以外の方については、単独浄化槽、合併浄化槽、汲み取りトイレを使っているのが現状である。

水洗化率36.7%は非常に低い率と捉えられると思うが、供用開始から20年近くが経過している地区では、接続率が100%となっている。反して供用開始から年数がたっていない地域は接続率が低いため、全体を平均すると36.7%という水洗化率となるが、着実に水洗化率は上がっている状況である。

下水道以外の方は何を使っているかというご質問に対しお答えすると、単独浄化槽、汲

み取りそれぞれの人口は把握していない。合併浄化槽については統計を取っており、下水道の供用開始区域内では、1,791人が合併浄化槽を使用している。

委員 供用開始から20年経過し、今年度、処理場施設の更新計画があるとのことであるが、減価償却に基づいて更新するのか、事故や故障などの理由によるものか、更新の考え方を聞きたい。

事務局 施設の更新は、壊れたから更新するというものではなく、計画的に順次更新していくものである。

下水処理センターは、24時間365日休まず動かさなければならないため、機械設備については、機能診断をしながら今がどのような劣化状態であるのかを把握したうえで、何年先に交換するという計画を立てている。

電気設備については、いつ寿命が来るか診断しようがないので、耐用年数に基づき更新している。

委員 10年なら10年で更新するというものでもないのか。

事務局 機械設備ごとに耐用年数が変わるので、それぞれの機械設備ごとに計画を立てている。これが、一昨年計画を立てたストックマネジメント計画であり、この計画に基づき令和2年度は更新する。

(3) その他

委員 泉町の方では、下水道に反対されていると聞いたが、反対運動により数人の大きな声に流されてしまうことを危惧している。反対されている方が理解できるような説明や工法などのやり方を説明してほしいと思うが、計画が遅れることによって泉町の地区の方に不利益が生じる恐れがあるのではないかと。

反対している人は良いが、賛成している人や下水道工事に合わせて改修しようとしている人、家を建てようとしている人にとっては、不利益があるのではないかと思う。

事務局 議会から住民の方々とよく話をして進めるようにと言われているため、説明会も2回から3回開催し、その中で色々な宿題もいただき回答しながら、できるだけ細やかな対応をしていきたいと考えている。

不利益という話になると下水道区域は税金で整備をしており、早く供用開始をしたところは、早く恩恵を受けていることになる。大野市全体を一度に整備できるのが良いが、現実的ではないので、計画を立てて計画に従い進めている。

御清水付近の泉町については、このままでは、1年か2年遅れを生ずることになる。なるべくそういうことがないように、住民の方々に説明をしながら進めていきたい。

委員 下水道の整備計画に入っていて整備が進んでいない七間通りについて、まだ整備されないのかという声もあるが、進捗状況はいかがか。

事務局 七間と寺間通りは、道路舗装が特殊な工法となっている。下水道工事を実施すれば道路舗装を全て撤去しなければならないが、その原状復帰にはかなり費用がかかることになる。

担当の建設整備課とも話をし、商店街としてどのような復旧状況が良いのか決めてほしいとお願いしている。石畳舗装は、冬場石が浮いて除雪に支障があるとも聞いており、そのようなことも解消していきたいという思いもある。

閉会